



湯本 英里さん

長野県山ノ内町
渋温泉 湯本旅館

皆様こんにちは。大阪府の奥山裕美さんからバトンをいただきました長野県渋温泉湯本旅館の湯本英里です。

出身は同じ町内なのに、嫁ぐまで渋温泉に足を踏み入れたことがありませんでした。その

の旅館やホテルに泊まり、私だったらここはこうしよう、こんなのがあったら嬉しい...といったことを持ち帰り、お客様目線に立つて考えること、それを真似ではなく湯本独自のやり方にしてきました。

お客様が、そのたびフロントに電話を掛け聞くことがないよう手の旅館のポップを作り、各部屋に置いていただきます。AIにはないあたたかみを感じますと好評です。

昨年9月から東京の某名門ホテルでセールスマネージャーをしていた方を旅館の指南役

400年以上続く旅館をどう維持するか！次世代に引き継いでいくか！ 親である私が

見など参考にさせていただきます。ありがとうございます。ありがとうございます。インバウンドが増加する中、あえて日本人のみの受け入れです。時代の流れで外国人は避けては通れません。身振り手振りで乗り切りたいと思います。温泉街に現れるお猿さんたちとの戦いもここならでは。負けずに戦い続けます(汗)。

次のバトンを三重県濱千代美治さんにお渡しします。

40をもつてJJKK
全旅連・女性経営者の会
リレーコラム
Vol.126

の旅館やホテルに泊まり、私だったらここはこうしよう、こんなのがあったら嬉しい...といったことを持ち帰り、お客様目線に立つて考えること、それを真似ではなく湯本独自のやり方にしてきました。

無理矢理子どもに家業を押し付けるのではなく、子ども自身が自ら継ぎたいと思える旅館にしていくのが私の使命だと考えています。私の子どもは女の子のみ。旅館業はやはり女将なのです！JJKKだと思っています。なかなか会議、勉強会に参加することができずにいる今日このごろです。いつも皆様のご意

見など参考にさせていただきます。ありがとうございます。ありがとうございます。インバウンドが増加する中、あえて日本人のみの受け入れです。時代の流れで外国人は避けては通れません。身振り手振りで乗り切りたいと思います。温泉街に現れるお猿さんたちとの戦いもここならでは。負けずに戦い続けます(汗)。

次のバトンを三重県濱千代美治さんにお渡しします。

400年の宿を次世代につなぐ